

宿泊約款
近鉄フレンドリーホステル

2016年10月21日

(適用範囲)

第1条 当施設が宿泊客との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当施設が、法令および慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当施設に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当施設に申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日および到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
- (4) その他当施設が必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当施設は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当施設が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当施設が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を越えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当施設が定める申込金を、当施設が指定する日までにお支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条および第17条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当施設が指定した日までにお支払いいただけない場合はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当施設がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当施設は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当施設が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合および当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当施設は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みがこの約款によらないとき。
- (2) 満員により客室・ベッドの余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団、同条第2条第6号に規定する暴力団員、暴力団準構成員または暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、または合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (9) 大阪府条例の規定する場合に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当施設に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当施設は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第

3条第2項の規定により、当施設が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いにより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当施設が第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当施設が宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当施設は、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後11時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当施設の契約解除権)

第7条 当施設は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団、同条第2条第6号に規定する暴力団員、暴力団準構成員または暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 宿泊客が伝染病であると明らかに認められるとき。
 - (5) 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (7) 大阪府条例の規定する場合に該当するとき。
 - (8) 施設内での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当施設が定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
2. 当施設が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊当日、当施設のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所および職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地および入国年月日
 - (3) 出発日および出発予定時刻
 - (4) その他当施設が必要と認める事項
2. 宿泊客は第12条の料金の支払いを、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当施設の客室およびベッドを使用できる時間は、午後3時から午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日および出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当施設は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過3時間までは、室料金の30%
 - (2) 超過6時間までは、室料金の50%
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の100%

第10条 宿泊客は、当施設内においては、当施設が定めてホステル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当施設の係の対応時間は午前7時から午前0時までとします。

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当施設が認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際に行っていただきます。

3. 当施設が宿泊客に客室およびベッドを提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当施設の責任)

第13条 当施設は、宿泊契約およびこれに関連する契約の履行にあたり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当施設の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当施設は、万一の火災等に対処するため、旅館施設賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当施設は、宿泊客に契約した客室およびベッドを提供できないときは、宿泊客の了解を得て、可能な限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。ただし、それが当施設の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当施設は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害補償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当施設の責めに帰すべき事由がないときは補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントに預けた物品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力であるときを除き、当施設は、その損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物または携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当施設に到着した場合は、その到着前に当施設が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物または携帯品が当施設に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当施設は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合または所有者が判明しないときは、発見日を含め1週間保管し、期間経過後は処分させていただきます。

3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物または携帯品の保管についての当施設の責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(宿泊客の責任)

第17条 宿泊客の故意または過失により当施設が損害を被ったときは、当該宿泊客は当施設に対し、その損害を賠償していただきます。

(支配する国語)

第18条 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致または相違があるときは、日本語がすべての点について支配するものとします。

別表1 宿泊料金の内訳(第2条第1項および第12条第1項関係)

		内	訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料	
	税金	消費税	

別表2 違約金

契約解除の通知をうけた日		
不泊	当日	前日
100%	80%	50%

Accommodation Contract
Kintetsu Friendly Hostel

October 21, 2016

Article 1 – Scope of Application

- 01.01. The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between the Hostel and the Guest shall be based on this contract under the following terms and conditions.
Any matter not stipulated in this contract shall be governed by ordinance and generally established practice.
- 01.02. When the Hostel has agreed to conclude a Special Contract without conflicting with ordinance and established practice, the said Special Contract shall prevail.

Article 2– Application for an Accommodation Contract

- 02.01. The Guest who intends to apply to the Hostel for an Accommodation Contract will be required to provide the Hostel with the following particulars:
- (1) Name(s) of Guest(s) to be registered.
 - (2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation charge (according, in principle, to the basic accommodation charges described in Schedule 1).
 - (4) Other information considered necessary by the Hostel.
- 02.02. In the case that the Guest has requested, during the Guest's stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, the Hostel shall handle that request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

Article 3– conclusion, etc. of the Accommodation Contract

- 03.01. The accommodation contract shall be considered to have been concluded when the Hostel has accepted the application described in the preceding Article, unless the Hostel has certified that the Hostel has not accepted the said application.
- 03.02. When the accommodation Contract has been concluded under the provision of the preceding Paragraph, the Application Money payable for the period scheduled for overnight stay as prescribed by the Hostel shall be paid by the date set by the Hostel, up to the maximum amount equal to the basic accommodation charge for 3 days in cases where the period scheduled for overnight stay exceeds 3 days.
- 03.03. The application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge Payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 17 have arisen, to penalties, and then to compensation money, in that order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the accommodation Charge is paid as provided in Article 12.
- 03.04. In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by the Hostel as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where the Hostel has notified the Guest to that effect at the time when prescribing the day due for payment of the Application Money.

Article 4– Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money

- 04.01. Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where the Hostel may accept a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.
- 04.02. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that the Hostel fails to request payment of the application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 5– Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

- 05.01. The following are cases where the Hostel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract:
- (1) When application for accommodation is not based on this Contract.
 - (2) When there is no bed and room available due to full occupancy.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of ordinance, public order or good public morals.

- (4) When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following
 - (a) to (c).
 - (a) As defined under the law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) stipulated article 2 item 2 (hereinafter referred to as "gang group"), a gang member stipulated by the same law article 2 item 6 (hereinafter referred to as "gang member"), a gang group semi-regular member, a gang member-related person, or other antisocial group.
 - (b) A corporate entity or other organization where gang groups or gang members control business activities.
 - (c) A corporate entity with gang groups or gang members serving as officers.
- (5) When the Guest seeking accommodation interferes with or bothers other hostel guests.
- (6) When the Guest seeking accommodation interferes with or bothers other hostel guests.
- (7) When the Guest seeking accommodation is violent, or makes demands beyond a reasonable purview.
- (8) When Acts of God, trouble with Hostel facilities, or other unavoidable causes prevent the Guest from staying at the Hostel.
- (9) When the provision of the Osaka prefecture and Hostels Act applies.

Article 6— The Guest's Right to Cancel the Contract

06.01. The Guest may request the Hostel to cancel the Accommodation Contract.

06.02. In the case that the Guest has cancelled the accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to the Guest (which is the case when the hostel has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalty shall be required as specified in Schedule II, but in the case that the Hostel has accept a Special Contract described in article 4, Paragraph 1 this provision shall be applied only to the case where the Hostel has notified the Guest of the Guest's responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.

06.03. In the case that the Guest does not arrive by 11:00 p.m. on the day of an overnight stay without informing the Hostel of a delay (or after the lapse of two hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

Article 7— The Right of the Hostel to Cancel the Contract

07.01. The following are cases where the Hostel may cancel the Accommodation Contract:

- (1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of ordinance, public order or good public morals, or is considered to have behaved in such a manner.
- (2) When the Guest is clearly considered to be corresponding to the following (a) to (c).
 - (a) A gang group, gang group semi-regular member, gang member related person, or other antisocial group.
 - (b) A corporate entity or other organization where gang groups or gang members control business activities.
 - (c) A corporate entity with gang groups or gang members serving as officers.
- (3) When the Guest seeking accommodation interferes with or bothers other hostel guests.
- (4) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to have an infectious disease.
- (5) When the Guest seeking accommodation is violent, or makes demands beyond a reasonable purview.
- (6) When Acts of God, trouble with Hostel facilities, or other unavoidable causes prevent the Guest from staying at the Hostel.
- (7) When the provision of the Osaka Prefecture Inns and hostels Act applies.
- (8) When the Guest smokes in the hostel or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by the Hostel among the rules of use prescribed by the Hostel.

07.02. In cases where the Hostel has cancelled the accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Article 8— Registration of Accommodation

08.01. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of the Hostel:

- (1) Name, age, gender, address and occupation of the Guest.

- (2) Nationality, passport number, place entered and date entered, in the case of a foreign Guest.
- (3) Scheduled date and time of departure.
- (4) Other particulars considered necessary by the Hostel.

08.02. If the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as credit card, etc., the Guest will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

Article 9– Time Allowed for Use of the Guest Room

09.01. The time allowed for the Guest to use the guest bed and room of the Hostel shall be from 3:00 p.m. until 11:00 a.m. of the following day, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except on the day of arrival and the day of departure.

09.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where the Hostel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be required as specified below.

- (1) Up to 3 hours in excess of the prescribed hours 30% of room charge
- (2) Up to 6 hours in excess of the prescribed hours 50% of room charge
- (3) More than 6 hours in excess of the prescribed hours ... 100% of room charge

Article 10– Compliance with the Rules of Use of the Hostel

10.01. While staying in the Hostel, the Guest will be required to comply with the Rules of use posted inside the Hostel as prescribed by the Hostel.

Article 11– Business Hours

11.01. The business hours of front desk is from 7:00 a.m. until 0:00 a.m.

11.02. The service hours described as per the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by appropriate means.

Article 12– Payment of Charges

12.01. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in Schedule I.

12.02. Payment of the accommodation charges, etc. described in the preceding Paragraph shall be made in currency or by other alternative means acceptable by the Hostel, such as credit card, etc., at the reception desk at the time when the Guest arrives from the Hostel or is charged by the Hostel.

12.03. In the case that the Guest has not stayed at the Hostel at the Guest's discretion even after the Hostel have offered a guest room to the Guest and made it available for the Guest's use, the accommodation charge will still be charged.

Article 13– Responsibility of the Hostel

13.01. In the case that the Guest suffers loss or damages as a result of the fulfillment of the accommodation Contract and related Contracts, or of any breach of those Contracts, the Hostel shall compensate for the said loss or damage, unless the said loss or damage is due to a cause not attributable to the Hostel.

13.02. The Hostel is covered by liability insurance for emergencies such as fire.

Article 14– Handling In Case the Guest Room Contracted Is Not Available

14.01. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable, the Hostel shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned, unless there is due to a cause not attributable to the Hostel.

14.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where the Hostel is unable to offer other accommodation facilities to the Guest, the Hostel shall pay the Guest a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to the Hostel for not being able to offer the guest room, no compensation shall be paid.

Article 15– Handling of Checked Articles, etc.

15.01. When articles, checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, the Hostel shall compensate for such loss of damage unless caused by force de majeure.

Article 16– Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

16.01. When the baggage of the Guest has arrived at the Hostel prior to the Guest's arrival, the Hostel will keep it subject to the agreement given prior to its arrival, and will return it to the Guest at the time when the Guest checks in at the front desk.

16.02. If baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after the Guest has checked out, the Hostel shall ask the owner of such items for instructions when the owner has been identified. However, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified, the Hostel shall keep them for one week from the day when they have been found, and then dispose of them at its own judgment.

16.03. The responsibility of the Hostel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provisions of Paragraph 1 of this Article in the case of Paragraph 1 of this article, and to the provisions of Paragraph 2 of this Article.

Article 17– Responsibility of the Guest

17.01. In the case that the Hostel has suffered damage due to the intention or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate to the Hostel for said damage.

Article 18– Language

18.01. The Japanese version of this Contract shall have precedence in the event of any differences of meaning or interpretation between the Japanese contract and its English translation.

Schedule I

Breakdown of accomodation charges (Art.2, Para.1, and Art. 12, Para 1)

Breakdown		
Total amount	Accommodation charges	Basic accomodation charge
charged to Guest	1. Tax	Consumption tax

Note: The basic accomodation charge is the room charge displayed at the front desk.

Schedule II

Penalties (Art.6, Para.2)

Number of guests in application Date notice of cancellation received No lodging Date of reserved lodging Day immediately before date of reserved lodging By nine days before date of reserved lodging By 20 days before date of reserved lodging General 14 guests or fewer 100%